

自由大学シーラーズと東京外国語大学共催の文化遺産に関する日イラン・シンポジウムの開催

9月5日、自由大学シーラーズ校と東京外国語大学の共催で「文化遺産が自己形成に与える役割」に関するシンポジウムが開催されました。同シンポジウムでは、サールーイー自由大学シーラーズ校学長が本シンポジウム開催の意義を説明し、同シンポジウム開催の中心的役割を果たした八尾師東京外国語大学教授が総括を行いました。

また、本シンポジウムでは駒野大使が基調講演を行い「今回のテーマは非常に興味深く重要であり、本テーマを掘り下げることで日本とイランの理解・交流が促進されることを期待する」と述べました。同シンポジウムでは、イラン内外からの専門家が本テーマにつき講演をしました。

